

2020年度 理学部入学者ガイダンス(化学科)

PDFファイルですが、Adobe Acrobat ReaderDCの場合、
ツールバーの 表示>フルスクリーンモード
にするとスライドショーとしてご覧になれます。

新1年生の皆様、ご入学おめでとうございます

- ・今年には緊急事態宣言により通常のガイダンスはできませんので、本資料を見ていただくことでガイダンスとさせていただきます。通常、ガイダンスに使用しているスライドに説明を加えると共に、重要なポイントを強調して示しています。
- ・説明がない分、わからないこともあると思いますので、質問があれば、メールにて教務委員の笠原まで連絡してください。連絡先: kasha@kobe-u.ac.jp
- ・そのためには、まず最初に、大学から郵送されてきた書類の中にある、アカウント通知書に示された学籍番号のメールアドレス(学籍番号@stu.kobe-u.ac.jp)にてメールの送受信ができるように各自で設定して下さい。
＜設定方法は次のホームページを参照＞
<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/services/StandardService/PersonalMail> および
<http://www.istc.kobe-u.ac.jp/services/StandardService/PersonalMail/mailers>
- ・設定が終わりましたら、まずはメール開通の報告を笠原のメールアドレスまで送付してください。笠原からの返信をもって、メールの開通確認とします。
(パソコン入手・ネット環境の準備などがまだの方は、スマホなどのメールでも結構ですので、その旨、メールにて笠原まで連絡してください。間に合わせの連絡先としてメールを開通させます。)
- ・メールの設定が上手くいかない場合は、スマホなどのメールでも結構ですので、笠原までメールするか、4月13-14日にかけて電話連絡をしていただきました化学科の小堀先生、立川先生、田村先生に質問していただいても構いません。

それでは、入学ガイダンスを始めます。

化学科教務委員 笠原俊二

大学は高校までと違い、驚くほど不親切。

いちいち提出期限間際にアナウンスなどされません。

情報は自分で見つける必要があります。

学生便覧は最も基本的な情報が記載されています。

自分なりに付箋を貼ったりメモや注釈をいれて
必要事項を理解するようにしてください。

(注)現在、学生は学舎立ち入り禁止のため、情報はホームページの閲覧とメールのやり取りに限られています。後日、通学が始まりましたら、改めて化学科のガイダンスを行います。

2020年度 神戸大学理学部

化学科 ガイダンス

1. 履修上の注意事項と卒業条件
2. 教員免許の取得
3. 心の相談
4. 掲示板

1. 履修上の注意事項と卒業条件

- ・ 基本的に、**学生便覧2020(赤表紙)**を熟読すればいいのですが、重要な部分を取り出して示しています。＜ページ数は学生便覧2020のページ数です。＞

学生便覧2020(赤表紙)を手元に用意して下さい。これから、履修のポイントを示しますので、適宜、付箋を貼ったり、メモを書き込んだりして、自分に合わせた学生便覧にしてください。

- ・ 履修に関しては、ホームページから行うこととなります。特に、今年に限っては、コロナウイルスによる非常事態のため、通常とは異なる履修方法や授業となりますので、ホームページの情報の更新にご注意ください。

すでに配布された書類一式の中に、2020年度1,2クォーターの授業開始日・日程表・遠隔授業・履修登録についての説明書が入っていますので、具体的な作業はそちらを見て行ってください。ここでは、概要説明と重要事項の表示を主に行います。

- 注意：・第1Qの履修登録は4/20-5/20となっているが、遠隔授業を受けるためには5/5までに履修登録する必要があるので注意すること！**
- ・教科書の注文は4/24(金)16時までに注文しないと初回の講義に間に合わないので注意すること！**

(趣 旨)

第1条 この規則は、神戸大学教学規則（平成16年4月1日制定。以下「教学規則」という。）に基づき、神戸大学理学部（以下「本学部」という。）に関する必要な事項について定めるものとする。

(本学部における教育研究上の目的)

第1条の2 本学部は、自然科学の基礎である理学諸分野を探究することによって自然の理解を深め、社会の進歩に貢献することを教育研究上の目的とする。

(学科及び学科目)

第2条 本学部には置く学科及び学科目は、次の表のとおりとする。

学 科	学 科 目
数学科	解析数理
	構造数理
	応用数理
物理学科	理論物理学
	粒子物理学
	物性物理学
化学科	物理化学
	無機化学
	有機化学
生物学科	生体分子機構
	生命情報伝達

(3) 化学科

広い知識を授けるとともに、新しい概念及び学際領域の創出を意図した化学の教育研究を行い、教養及び幅広い化学の専門的な知識を身に付け、未開拓の分野への意欲的取り組み並びに問題認識及び解決能力を身に付けた創造力のある人材を養成することを目的とする。

(2) 物理学科

広い知識を授けるとともに、物質の構造及び物性を根本原理から理解するための教育研究を行い、教養及び物理学に関する専門的な知識を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(3) 化学科

広い知識を授けるとともに、新しい概念及び学際領域の創出を意図した化学の教育研究を行い、教養及び幅広い化学の専門的な知識を身に付け、未開拓の分野への意欲的取り組み並びに問題認識及び解決能力を身に付けた創造力のある人材を養成することを目的とする。

(4) 生物学科

広い知識を授けるとともに、分子・細胞レベルから種及び生態系レベルまでの基礎生物学的教育研究を行い、教養及び生物学に関する専門的な知識並びに科学的な考え方を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(5) 惑星学科

広い知識を授けるとともに、地球及び太陽系・宇宙に関する専門的な知識並びに科学的な考え方を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(注意) 2020年度 第1Qは105分授業です。＜特別対応＞

関する専門的知識並びに自然の中から自ら問題を発見し解決する能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。

(授業科目及び単位数)

第3条 本学部における授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

- 前項の授業科目の各年次の配当は、別に定める。
- 第1項に規定するもののほか、臨時に授業科目を開設することがある。
- 前項の授業科目及び単位数並びに授業科目の各年次の配当は、開設の都度定める。

(単位の基準)

第4条 各授業科目の単位の計算は、次の基準による。

- 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- 演習、実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 数学講究については、論文等をもって8単位とする。
- 特別研究については、論文等をもって6単位、8単位、10単位、12単位又は14単位とする。

(履修要件)

第5条 学生は、別表第2に定め

- 外国入留学生が教学規則第2

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、50単位とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として20単位とする。

単位制
90分授業
1クォーターで1単位、学期で2単位

必要修得単位数に算入することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第8条 学生は、神戸大学理学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下同じ。）の授業科目を履修することができる。

一回の90分授業に対して4時間以上の予習復習が前提です。

(休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した授業科目の単位の取扱い)

第8条の2 学生が教授会の議を経て、休学期間中に本学部と協定を締結している外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学部において修得したものとみすことが

協定に基づかず

神戸大学教学規則 第9条4項

“、、、規定にかかわらず、休業日において
授業等を行うことができる。”

授業が急に日程変更になることもありうるし、休日に設定されることもあるので注意して下さい。2020年度前期は特に。

授業科目の区分

ハ 化学科

授業科目の区分等	授業科目等	必要修得単位数
基礎教養科目	別表第1イに掲げる授業科目のうち区分「生物学」、「数学」、「芸術学」及び「情報科学」を除く授業科目	6
総合教養科目	別表第1イに掲げる授業科目のうち化学科除外科目を除く授業科目	6
外国語第I	Academic English Communication A1, Academic English Communication A2, Academic English Communication B1, Academic English Communication B2,	4
	Academic English Literacy A1, Academic English Literacy A2, Academic English Literacy B1, Academic English Literacy B2,	
外国語科目	ドイツ語初級A1, フランス語初級A1, 中国語初級A1, ロシア語初級A1	0.5
	ドイツ語初級A2, フランス語初級A2, 中国語初級A2, ロシア語初級A2	0.5
	ドイツ語初級A3, フランス語初級A3, 中国語初級A3, ロシア語初級A3	0.5
	ドイツ語初級A4, フランス語初級A4, 中国語初級A4, ロシア語初級A4	0.5
	ドイツ語初級B1, フランス語初級B1, 中国語初級B1, ロシア語初級B1	0.5
	ドイツ語初級B2, フランス語初級B2, 中国語初級B2, ロシア語初級B2	0.5
	ドイツ語初級B3, フランス語初級B3, 中国語初級B3, ロシア語初級B3	0.5
	ドイツ語初級B4, フランス語初級B4, 中国語初級B4, ロシア語初級B4	0.5
	ドイツ語中級C1, フランス語中級C1, 中国語中級C1, ロシア語中級C1	0~1
	ドイツ語中級C2, フランス語中級C2, 中国語中級C2, ロシア語中級C2	0~1
情報科目	情報基礎	1
	情報科学1	0~2
	情報科学2	1~3
健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学実習基礎	1
	健康・スポーツ科学実習1	0~1
	健康・スポーツ科学実習2	0~1
	健康・スポーツ科学講義A	0又は1
	健康・スポーツ科学講義B	
健康・スポーツ科学講義C		
高度教養科目	理学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち「高度教養セミナー-理学部」	2
共通専門基礎科目	必修科目	2
	選択必修科目	14~16
専門科目	必修科目	55
	選択必修科目	11~27
	選択科目	0又は2
	本学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目及び自然科学系で化学科が認める他学部専門科目(共通専門基礎科目及び教職科目を除く。)の授業科目	0~7
合計		124

1-2年次に
共通教育にて受講
(鶴甲キャンパス)

P.92,93に
対象学年、授業時間数

次ページに
説明

1-4年次に主に
理学部化学科
にて受講

卒業に必要な単位数

専門科目の種類

化学科 (◎印は必修科目を、○印は選択必修科目、▲印は選択科目を示す。)

業科の区	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位	授業科目の区分	必修・選択必修・選択の別	授業科目	単位
共通専門基礎科目	○	微分積分1	1	専 門 科 目	◎	無機化学I-1	1
	○	微分積分2	1		◎	無機化学I-2	1
	○	微分積分3	1		◎	無機化学II-1	1
	○	微分積分4	1		◎	無機化学II-2	1
	○	線形代数1	1		◎	無機化学III-1	1
	○	線形代数2	1		○	無機化学III-2	1
	○	線形代数3	1		○	無機機能化学1	1
	○	線形代数4	1		○	無機機能化学2	1
	○	力学基礎1	1		◎	分析化学I-1	1
	○	力学基礎2	1		◎	分析化学I-2	1
	○	電磁気学基礎1	1		○	分析化学II-1	1
	○	電磁気学基礎2	1		○	分析化学II-2	1
	○	連続体力学基礎	1		○	固体化学	2
	○	熱力学基礎	1		○	溶液化学1	1
	○	量子力学基礎	1		○	溶液化学2	1
	○	相対論基礎	1		○	有機化学基礎1	1
	○	生物学概論C1	1		○	有機化学基礎2	1
	○	生物学概論C2	1		◎	有機化学I-1	1
	○	基礎地学1	1		◎	有機化学I-2	1
	○	基礎地学2	1		◎	有機化学II-1	1
○	物理学実験基礎	1	◎	有機化学II-2	1		
○	物理学実験	2					
◎	化学実験1	1					
◎	化学実験2	1					
○	生物学実験1	1					
○	生物学実験2	1					
◎	初年次セミナー	1					
○	物理化学基礎	1					
◎	化学熱力学I-1	1					
◎	化学熱力学I-2	1					
○	化学熱力学II-1	1					
○	化学熱力学II-2	1					
○	化学熱力学III-1	1					
○	化学熱力学III-2	1					
◎	量子化学I-1	1					
◎	量子化学I-2	1					
◎	量子化学II-1	1					
◎	量子化学II-2	1					
○	量子化学III-1	1					
○	量子化学III-2	1					
◎	化学反応論1	1					
○	化学反応論2	1					
○	表面化学1	1					
○	表面化学2	1					
○	分子分光学1	1					
○	分子分光学2	1					
○	無機化学基礎1	1					
○	無機化学基礎2	1					

必修(3,4Q)

1,2Qに開講される
化学科の授業

- ◎必修
初年次セミナー
- 選択必修
物理化学基礎
無機化学基礎1
無機化学基礎2
有機化学基礎1
有機化学基礎2

- ◎必修
- 選択必修

備考1 特別講義については、テーマが異なる場合には、2科目以上履修することができる。
2 上記別表の共通専門基礎科目のうち、次の兩科目を重複して卒業必要単位とすることはできない。
「物理学実験基礎」と「物理学実験」
3 選択科目は化学科学生のみ履修可能とする。

P.99 高度教養科目

別表(第2条, 第3条関係)理学部高度教養科目

授 業 科 目	単 位 数	配 当 年 次	備 考
Introduction to Mathematics	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Physics	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Chemistry	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Biology	1	2年次前期	英語による授業
Introduction to Planetology	1	2年次前期	英語による授業
表面と触媒の科学	1	3年次	理学部生履修不可
脳科学	1	3年次	理学部生履修不可
地球および惑星大気科学	1	3年次	理学部生履修不可
高度教養セミナー理学部	2	4年次	数学科, 物理学科, 化学科, 生物学科必修
高度教養セミナー理学部数学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部物理学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部化学入門	1	3年次後期	1単位を上限とする
高度教養セミナー理学部生物学入門	1	3年次後期	
高度教養セミナー理学部惑星学入門	1	3年次後期	

必修

赤は必修(4年次)。紫色は履修することを強く勧める。(2,3年次)

P.58 履修登録

(授業科目の履修)

第7条 学生は、毎学期指定の期日までに、履修しようとする授業科目を神戸大学理学部長（以下「学部長」という。）に届け出なければならない。

2 他学部の授業科目の履修については、学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

3 前項の授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(4) 特別研究については、論文等をもって6単位、8単位、10単位、12単位又は14単位とする。

(履修要件)

第5条 学生は、別表第2に定めるところに従い、所属する学科の所定の単位を修得しなければならない。

2 外国人留学生在が教学規則第26条第2項の規定にかかわらず、履修された授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づき、履修科目の登録の上限は、50単位とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として10単位までとする。

2 前条の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることがある。

3 前項に規定する履修科目の登録の上限を超える者の基準については、別に定める。

(授業科目の履修)

第7条 学生は、毎学期指定の期日までに、履修しようとする授業科目を神戸大学理学部長（以下「学部長」という。）に届け出なければならない。

2 他学部の授業科目の履修については、学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

3 前項の授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第8条 学生は、神戸大学理学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下同じ。）の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない事情があるときは、学生は、教授会の議を経て、協定に基づかずに外国の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。

3 前2項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60単位を限度として、本学部において修得したものとみなし、別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した授業科目の単位の取扱い)

第8条の2 学生が教授会の議を経て、休学期間中に本学部と協定を締結している外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学部において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない事情があるときは、学生が休学期間中に協定に基づかずに外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、教授会の議を経て、本

2020年度1Qは5月7日から遠隔授業を受講するためには、5月5日までに履修登録する必要があるので注意せよ！

うりぼーネットにアクセス！

履修登録期間(1Q、2Q分):

4月20日(月)~5月20日(水)17時

履修取消期間:

(1Q)5月21日(木)~5月27日(水)

(2Q)7月10日(金)~7月16日(木)

基礎教養科目、総合教養科目は第2Qからの履修となり、抽選登録が必要です。

抽選登録期間: 5月28日(木)~6月3日(水)

結果発表: 6月12日(木)予定

神戸大学HP→在学生の方→うりぼーポータル

神戸大学学生向けポータルサイト
うりぼーポータル

神戸大学トップページへ

よくある質問と回答 | お問い合わせ先一覧 | アクセス・キャンパスマップ

トピックス

- 固定 [遠隔授業についてのポータルサイト \(神戸大学レクチャーハブ\) を公開しました](#)
- 固定 [【在学生の皆さんへ】令和2\(2020\)年度前期の授業・ガイダンス等について](#)
- 固定 [課外活動の中止又は延期について \(5月6日まで延長\)](#)
- 固定 [成績発表時期の変更について](#)
- 2020/04/08 [緊急事態宣言に伴う本学の対応について](#)

★全てのお知らせはこちら★

カテゴリー一覧

授業/履修登録	学生生活/学生支援	健康/安心/安全
<ul style="list-style-type: none">履修登録/履修取消GPA成績評価方針2学期クォーター制キャンパスカレンダー授業時間割	<ul style="list-style-type: none">学生生活に関するマナーとルール提出/届出等手続き一覧各種証明書通学定期乗車券の購入方法授業料授業料・入学金免除などの制度	<ul style="list-style-type: none">ハラスメントに関する相談ここからからだの健康相談「もしも」関連情報障害学生支援危機管理マニュアル公益通報

緊急情報
緊急情報はありません。

神戸大学教務情報システム
うりぼーネット
Kobe University Academic Affairs Information System
教務情報システム「うりぼーネット」を利用する前に「うりぼーネットの手引き」

神戸大学LMS 2020
BEEF

パソコン必携

令和2年度
初年次セミナー共通教材
令和2年4月30日まで掲載予定

全学共通

令和2年度 外国語科目 (外国語第I・外国語第II) のクラス分け発表は郵送にて周知

**履修登録一覧(提出用)の用紙を履修登録完了後に教務学生係に提出すること。
但し、2020年度は状況により提出方法が変更になる可能性大です。**

P.58 キャップ制

問える専門的知識並びに自然の中から自ら問題を発見し解決する能力を身に付けた人材を養成すること

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、**50単位**とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として**28単位**までとする。

2 前条の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることがある。

3 前項に規定する履修科目の登録の上限を超える者の基準については、別に定める。

(履修条件)

第5条 学生は、別表第2に定めるところに従い、所属する学科の所定の単位を修得しなければならない。

2 外国人留学生が教学規則第26条第2項の規定に基づき開設された授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(履修科目の登録の上限)

第6条 教学規則第29条第1項の規定に基づく履修科目の登録の上限は、50単位とする。ただし、一学期間に登録できる履修科目は、原則として28単位までとする。

2 前条の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることがある。

3 前項に規定する履修科目の登録の上限を超える者の基準については、別に定める。

(授業科目の履修)

第7条 学生は、毎学期指定の期日までに、履修しようとする授業科目を神戸大学理学部長（以下「学部長」という。）に届け出なければならない。

2 他学部の授業科目の履修については、学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

3 前項の授業科目の単位を修得したときは、別に定めるところにより、これらの単位数を別表第2の必要修得単位数に算入することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第8条 学生は、神戸大学理学部教授会（以下「教授会」という。）の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

2 前項の規定にかかわらず外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

3 前2項の規定により履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

(休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。)

第8条の2 学生が教授会と協定している他の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

2 前項の規定にかかわらず外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

3 前2項の規定により履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

(休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。)

第8条の2 学生が教授会と協定している他の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

2 前項の規定にかかわらず外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

3 前2項の規定により履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

(休学期間中に外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。)

第8条の2 学生が教授会と協定している他の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

2 前項の規定にかかわらず外国の大学又は短期大学において履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

3 前2項の規定により履修した単位を、教授会の議を経て、本学部と協定している他の大学又は短期大学に算入することができる。

1年間に登録可能単位の上限50単位
1学期間の上限28単位

注意！
履修取消をした単位も上記の上限に加算されます。

P.78 履修科目の登録の上限を超えて登録できる者の基準

(1) 前年度に卒業要件科目を38単位以上取得していること（各学年次配当の必修科目はすべて含むこと）。

(2) 前年度の履修登録科目の総単位数の80%以上が秀又は優であること。

(3) 本人が申請し、学科の審査により了承を得ていること。

前年度の取得単位で評価し、毎年度審査を行う。

「GPA」について

神戸大学では、「学位授与に関する方針」に掲げる国際的に卓越した教育を保証し、「単位の実質化」を進めるため、平成24年度入学生(*)から「GPA (Grade Point Average)」を通知することになりました。

(* 学部編入学生や一部の大学院学生は含みません。)

I. GPAについて

「GPA」とは、下記「成績評価基準」(秀、優、良、可、不可)に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのGP (Grade Point) を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのGP平均値 (Average) です。

「成績評価基準」

評語名 (和文)	評語名 (英文)	最小点	最大点	GP
秀	S	90	100	4.3
優	A	80	89	4
良	B	70	79	3
可	C	60	69	2
不可	F	0	59	0

※「可」以上が「合格」となり、単位が修得できる。

II. GPA計算について

$$GPA = \frac{\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGPの合計}}{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む)}}$$

1. 履修登録した科目のうち、GPA計算式に入らない科目があります。

- ① 成績を「合格」で評価する科目
 - ② 他大学等で単位修得し、神戸大学が「認定」とした科目
 - ③ 履修取り消しをした科目 (以下「Ⅲ. 履修取消制度について」参照)
 - ④ 資格免許のための科目 (教職科目、学芸員関連科目) (*)
- (* 一部の学部・研究科では計算式に入る科目があります。所属学部、研究科毎にお知らせします。)
- ⑤ 所属学部・研究科で指定した科目 (所属学部・研究科毎にお知らせします。)

2. 再履修をした場合、過去の「不可」の成績は、原則としてGPA計算式に入りません。

- ・「不可」(不合格)と成績評価された科目を、再び履修登録した場合、再履修した時の「不可～秀」(GP=0~4.3)の成績がGPA計算式に入り、当該科目について過去に付いた「不可」(GP=0)の成績が、再履修した学期以降のGPA計算式から除外されます。ただし、過去に計算されたGPA(学期)の値は変更されません。

※所属学部・研究科によっては「除外されない科目」がありますので注意してください。
(所属学部・研究科毎にお知らせします。)

Ⅲ. 履修取消制度について

学期初めに履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、クォーター毎に設けられる履修取消期間中に、履修を取り消すことができます。

【履修取消期間】

各クォーターの履修取消期間は別途掲示等でお知らせします。

【取消の対象となる科目】

以下のとおり、授業が始まるクォーターの履修取消期間に取消が可能です。

	取消の対象となる開講科目
第1クォーター履修取消期間	第1クォーター開講科目、前期開講科目、通年開講科目
第2クォーター履修取消期間	第2クォーター開講科目
第3クォーター履修取消期間	第3クォーター開講科目、後期開講科目
第4クォーター履修取消期間	第4クォーター開講科目

☆履修登録や履修取消は、原則として学生自らが「うりぼーネット」(Web)で行います。

- ・取り消した科目は、「履修科目一覧表」や「学業成績表」で確認でき、GPA計算式に入りません。
- ・履修取消期間中に取り消さなかった科目は、成績評価の対象となります。取り消さずに途中で履修を中止した場合、成績評価は「不可」(不合格)となり、GPA計算式に入りますので、注意してください。

注意！

履修取消をせずに成績評価が「不可」となった場合もGPAに影響します。

- ・取り消した科目は、履修取消期間終了後、その開講期間中に再び受講(履修)することはできません。

※修学上の理由から、「履修取消ができない科目」と「履修取消期間中に取消ができない科目」があります。詳細については、所属学部・研究科毎にお知らせします。

Ⅳ. GPAの通知について

- ・成績評価はクォーター毎、「GPA」は学期毎に通知されます。併せて「科目GP(単位数×GP)」と「GPA(学期)」も通知されます。

- ・通知されたGPAにより、学期毎及び在学中の成績評価の平均値を確認し、学習成果の指標とすることができます。

P.77

理学部における授業科目の履修については、理学部規則に定めるもののほか、この内規の定めるところによる。

(数学科)

1. 学部学科の如何にかかわらず専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 数学講究を履修しようとする者は、教養科目14単位以上、情報科目1単位以上、外国語科目8単位

**3年には鶴甲キャンパスに行かなくても良いように共通科目はできるだけ2年までにとるように。
4年からは研究室に所属し、特別研究(いわゆる卒業研究)を行います。**

2. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は物理学科が認めるものに限って卒業必要単位として認める。

3. **特別研究**を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 履修要件に定められた単位の内、基礎教養科目，総合教養科目，外国語科目，情報科目，健康・スポーツ科学，共通専門基礎科目にかかわる必要修得単位及び高度教養科目2単位。
 - ロ. 専門科目（共通専門基礎科目を除く。）のうち、必修35単位を含む55単位以上。

**3年生後期終了の時点で、イとロの条件を満たさないと4年生に進級できません。
(留年となります)**

(化学科)

1. 理学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目は卒業必要単位として認める。
2. 他学部専門科目（共通専門基礎科目及び教職科目を除く。）の授業科目中自然科学系で化学科の認める授業科目も前項の単位と同様に取扱う。
3. 特別研究を履修するには原則として以下の単位をあらかじめ修得していなければならない。
 - イ. 履修要件に定められた単位の内、基礎教養科目，総合教養科目，外国語科目，情報科目，健康・スポーツ科学，共通専門基礎科目にかかわる必要修得単位及び高度教養科目2単位。
 - ロ. 専門科目（共通専門基礎科目を除く。）のうち、必修35単位を含む55単位以上。

(生物学科)

1. 理学部規則別表第2の二の共通専門基礎科目14～16単位には、原則として物理学実験，化学実験及び地学実験から2単位以上を含めなければならない。
2. 特別研究を履修しようとする者は原則として以下の単位をあらかじめ⁵⁵修得していなければならない。ただし、第3年次編入学者は生物学科が定める取扱いによる。なお、特別研究は原則として16単

注意(重要)

研究室配属は、成績評価に従って行われます。

学位授与に関する方針

- 神戸大学のディプロマ・ポリシーで定める能力に加え，卒業までに，本学部学生が，身につけるべき能力を次のとおりとする。
 - 科学全般を俯瞰する能力
 - 化学の基礎を理解し応用する能力
 - 物質の構造および機能を理解する能力
 - 現代化学を理解する能力
 - 化学の実験手法を応用する能力
 - 自ら課題を設定し，課題を創造的に解決する能力

P.59 卒業

(卒業)

第16条 教学規則第22条第1項に規定する期間在学し、第5条に規定する要件を満たした者について、卒業を認定する。

2 教学規則第22条第2項に規定する**早期卒業**の認定の基準は、別に定める。

P.104認定基準

(化学科)

- (1) 卒業要件科目の80%以上の科目が秀又は優の成績であること。
- (2) 本人が早期卒業を希望（入学1年後又は2年後に早期卒業希望調書を提出し、受理されていること）していること。

P.81

6. 修業年限

学部の修業年限は**4年**。学生は修業年限の2倍を超えて在学することはできません。ただし、休学期間は除きます。

注意！

休学期間は修業年限には含まれません。

7. 卒業の要件

理学部を卒業するためには、理学部規則別表第2の履修要件に定める各学科所定の単位数を修得しなければなりません。

注意事項

- 4年次の研究室配属は成績評価に従って行われます。
- 大学院入試ではTOEICの成績を提出します。
(2020年度は不確定)
- 試験、レポートでの不正行為は学期に履修した授業科目の成績全てが無効となります。
- “うりぼーネット”で毎日休講や振替について確認すること。
- 連絡先が変更した場合は直ちに教務学生係に知らせること。
- 第1Qの履修登録は4/20-5/20となっているが、遠隔授業を受けるためには**5/5までに**履修登録する必要があるので注意すること！

「学生教育研究災害障害保険」に必ず加入すること。
加入しなければ、実験ができません。

神戸大学の英語教育

※2020年度は試験が未定ですが、通常はこのような制度があります。

・課題発見・解決型グローバル人材育成をめざす

－英語力向上・英語教育強化－



神戸大学英語外部試験：4月7日(日)実施 未定

▶全員受験／英語力を把握し計画的な英語学習を！



高得点者は「**英語特別クラス**」に選抜されます

▶より高度な英語運用能力を伸ばします！



高得点者は「**単位授与**」制度を活用することもできます

▶アドバンスト科目・専門科目の受講を推奨！

●2年次以降に英語外部試験を受験した場合、在学中1回に限り、受験料の一部が大学から支援される制度があります。詳しくは大学ホームページや掲示で確認してください。

・英語外部試験の日には2000名以上の学生が受験します。交通機関の混雑が予想されますので(特にバス)、1時間以上前に大学に着くような心づもりで登校してください。

・受験場所注意。**理学部ではない可能性があります。**

2. 教員免許の取得

P.60

第19条 本学部と協定している他大学の学生で、本学部の特別聴講学生を志願する者は、別に定めるところにより、所属大学を経由して学部長に願ひ出るものとする。

2 特別聴講学生の在学期間は、その履修する授業科目が開講される期間とする。

(科目等履修生)

第20条 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(聴講生)

第21条 聴講生に関する事項は、別に定める。

(研究生)

第22条 研究生に関する事項は、別に定める。

(教員の免許状授与の所要資格の取得)

第23条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学部において、所要資格を取得できる教員の免許状の種類及び免許教科は、別表第3のとおりとする。

(学芸員の資格の取得)

第23条の2 学芸員の資格を取得しようとする惑星学科の学生は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定に基づく科目の履修については、別に定める。

(ESDコース)

第24条 環境、開発、平和、人権等の様々な社会問題を解決する力を身につけ、持続可能な社会づくりに資する人材を養成するため、本学部にESDコースを置く。

2 ESDコースに関し必要な事項は、別に定める。

(数理・データサイエンス標準カリキュラムコース)

第24条の2 数理的思考、データ分析・活用力を有する人材を育成するため、本学部に数理・データサイエンス標準カリキュラムコースを置く。

2 数理・データサイエンス標準カリキュラムコースコースに関し必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第25条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、教授会の議を経て、学部長が定める。

附 則

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

2 この規則施行の際現在に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和2年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

P.76

別表 第3

取得できる教員の免許状の種類及び免許教科(第23条関係)

学 科	教員免許状の種類	教 科 名
数 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数 学 数 学
物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 惑 星 学 科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

P.229

教育職員免許状取得について

1. 学部学生の教育職員免許状の取得について

(はじめに)

近年、小・中・高等学校等教員の資質の向上が問われています。とりわけ、低学年・体の不自由な者等の児童・生徒への対応が肝要とされ、このこともあって、小・中学校の教育職員免許状を取得するためには、単に教育実習のみならず、「介護等体験」の実習を受けることが義務づけられました。

小・中・高等学校等の教育職員となるには、教科に関する専門科目の修得はもとより、教育を行うための基本となる教職に関する専門科目の修得が必要で、人間性豊かな資質を涵養することが極めて重要とされています。

これらのことを念頭において、教育職員免許状を取得しようとする者は、安易に教員の資格を取得するためと言ったことでなく、将来、教育職員を目指す強い意志をもって、必要な科目を履修する必要があります。

教員免許を取得するためには、卒業単位以外に教職のための授業を履修して単位を修得する必要があります。詳しくは**学生便覧のP.229-240**を読んで下さい。

20

※例年、教員免許取得のためのガイダンスを行っていますので、情報があればお知らせします。

化学科 (◎印は必修科目を、○印は選択必修科目、▲印は選択科目を示す。)

授業科目 の区分	必修・ 選択必修・選 択の別	授 業 科 目	単 位 数	毎週の授業時間数								備 考	
				1 学年		2 学年		3 学年		4 学年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
◎		無機化学Ⅱ-1	1			2							1Q
◎		無機化学Ⅱ-2	1			2							2Q
◎		無機化学Ⅲ-1	1				2						3Q
○		無機化学Ⅲ-2	1				2						4Q
○		無機機能化学1	1					2				(年度により 開講しないこ とがある。)	3Q
○		無機機能化学2	1					2					4Q
◎		分析化学Ⅰ-1	1				2						3Q
◎		分析化学Ⅰ-2	1				2						4Q
○		分析化学Ⅱ-1	1					2					1Q
○		分析化学Ⅱ-2	1					2					2Q
○		固体化学1	1					2					1Q
○		固体化学2	1					2					2Q
○		溶液化学1	1						2				3Q
○		溶液化学2	1						2				4Q
○		有機化学基礎1	1	2									1Q
○		有機化学基礎2	1	2									2Q
◎		有機化学Ⅰ-1	1		2								3Q
◎		有機化学Ⅰ-2	1		2								4Q
◎		有機化学Ⅱ-1	1			2							1Q
◎		有機化学Ⅱ-2	1			2							2Q
◎		有機化学Ⅲ-1	1				2						3Q
◎		有機化学Ⅲ-2	1				2						4Q
◎		生物化学Ⅰ-1	1				2						3Q
◎		生物化学Ⅰ-2	1				2						4Q
○		生物化学Ⅱ-1	1					2					1Q
○		生物化学Ⅱ-2	1					2					2Q
○		生物化学Ⅲ-1	1						2				3Q
○		生物化学Ⅲ-2	1						2				4Q
○		有機構造化学1	1					2					1Q
○		有機構造化学2	1					2					2Q
○									2				3Q
○									2				4Q
◎		化学熱力学演習	1				2						3Q 4Q
◎		量子化学演習	1				2						3Q 4Q
○		無機分析化学演習	1						2				3Q 4Q
○		有機化学演習	1					2					1Q 2Q
◎		化学実験Ⅰ	8					16					1Q 2Q
◎		化学実験Ⅱ	6						12				3Q 4Q
◎		計算機化学実験	1						2				3Q 4Q
○		特別講義											その都度定める
◎		特別研究	14								←14→		
▲		化学科物理学概論	2	2									1Q 2Q
▲		化学科生物学概論	2	2									1Q 2Q
▲		化学科地学概論	2		2								3Q 4Q

教職免許を目指す学生以外は履修しないこと。

3. 心の相談



ようこそ。神戸大学保健管理センターへ。

こころの健康相談(六甲台)

月～金曜日 9:00～17:00
できるだけ事前に電話で
申し込んでください。

神戸大学保健管理センター
TEL: 078-803-5245

心理について	対人関係で悩んでいる(友人・同僚・上司・異性)。 自分の性格や能力について悩みがある。 ノイローゼ気味で毎日が不安である。 何もやる気がしない。
心身の状態について	最近睡眠がたいへん短くなっている。 食事が減ったり、逆に食べ過ぎたりしている。
学業・仕事について	学業や仕事に対する意欲がなく、身が入らない。 転学部・転学・転職をしようと迷っている。 休学・退学・休職・退職を考えている。
将来について	卒業後や今後のことについて悩んでいる。 自分にとってどういう進路や職業が適しているのか迷っている。
日常生活について	サークルや職場のことで悩んでいる。 大学生活や人生の意義・目的が分からない。 家庭や下宿でうまくいかない。

相談内容の秘密は厳守されます

4. 掲示板

1. 全学共通科目
鶴甲キャンパス内
2. 理学部（教務情報システムにも掲示されています）
B棟2階事務室東側
3. 化学科
A棟3階廊下（学生実験室の前）



検索

HOME

研究科長から

概要

入試情報

国際交流

関連施設

こちらのページも
確認して!

数学科・数学専攻
物理学科・物理学専攻

化学科・化学専攻

生物学科・生物学専攻

惑星学科・惑星学専攻

オープンキャンパス

オープンラボ (入試説明会)

サイエンスセミナー

模擬授業

ハイスchoolラボ at 神戸大

科学研究費補助金等

年次報告書・外部評価等

ファクトブック

強み・特色

理学部ホームカミングデー

理学部グローバルチャレンジプログラム

理学部・理学研究科
案内パンフレット



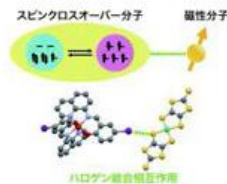
夢ナビ
Tumenavi
本学教員による学問のミニ講義



What's NEW

- 20/04/13 惑星学専攻では、大学院博士前期課程（修士課程）入学希望者を対象に、大学院入試説明会を5月2日（土）にオンラインにて開催します。
- 20/04/10 令和3年度4月入学 理学研究科博士課程前期課程（惑星学専攻自己推薦）の入試情報を更新しました。
- 20/04/09 【重要】学舎への立入り禁止について
- 20/04/01 【重要】令和2（2020）年度前期の授業・ガイダンス等日程が変更になりました。
- 20/03/27 物理学専攻では、3年次編入および大学院博士前期課程（修士課程）入学希望者を対象に、大学院入試・3年次編入説明会を4月25日（土）と6月20日（土）に開催します。
- 20/03/20 惑星学専攻の荒川政彦教授らの研究グループによる、小惑星探査機「はやぶさ2」の探査活動に基づく研究成果をまとめた論文が、Science誌に掲載されました。
- 20/03/18 化学専攻博士後期課程 稲垣明里さん(数理データサイエンスセンター 木村建次郎研究室)が第2回メドテックグランプリKOBEdで大鵬薬品質を受賞しました。
- 20/03/14 生物学専攻では、新型コロナウイルスの感染拡大防止への対応として、4月18日（土）に開催を予定しておりました入試説明会を延期いたします。

研究トピックス



分子を並べ、新しい機能を創出する

学年暦・授業予定

理学研究科事務室

奨学金について

兼業依頼について

安全の手引き（学内のみ）

教員の方へ

在学生の方へ

卒業生・修了生の方へ

理学部同窓会

KU-net

理学部・理学研究科
ロゴマーク



惑星科学研究
センター



神戸グローバルチャレンジプログラム

次スライド
に表示



HOME	研究科長から	概要	入試情報	国際交流	関連施設
------	--------	----	------	------	------

HOME > 理学部・理学研究科学生用掲示板

2020/4/15

- 数学科・数学専攻
- 物理学科・物理学専攻
- 化学科・化学専攻
- 生物学科・生物学専攻
- 惑星学科・惑星学専攻
- オープンキャンパス
- オープンラボ (入試説明会)
- サイエンスセミナー
- 模擬授業
- ハイスクールラボ at 神戸大
- 科学研究費補助金等
- 年次報告書・外部評価等
- ファクトブック
- 強み・特色
- 理学部ホームカミングデイ
- 理学部グローバルチャレンジプログラム

理学部・理学研究科学生用掲示板

共通 | 学部生用 | 大学院博士課程前期課程生用 | 大学院博士課程後期課程生用 | 特別研究員(DC,PD)応募用

共通

◆ Topics

- **令和2年度(2020年度)新入生の皆さんへ**
- 【重要!】第1・2Qの履修登録期間について
- 学生向けポータルサイト「うりぼーポータル」
- 令和元年度 高度教養科目(学部2018年度生以降) [理学部開講科目](#) [理学以外開講科目](#)

2020年度の履修に関して重要な情報あり、各自確認せよ!

◆ 各種届出・制度の案内 学生便覧

- 身上異動・住所変更届 [PDF] (住所、保護者等の連絡先の変更、改姓などの場合に提出してください。)
- 休学・復学・退学等について
- 証明書の発行について
- 各種書類様式
- 学生便覧(2016年度入学者用)
- 学生便覧(2017年度入学者用)・訂正
- 学生便覧(2018年度入学者用)・訂正
- 学生便覧(2019年度入学者用)
- 学生便覧(2020年度入学者用)

◆ リンク

- 学生向けポータルサイト「うりぼーポータル」
神戸大学の学生生活(授業・履修・奨学金・海外留学等)
- 在学生の方へ(神戸大学のページ)
- 外務省・海外安全ページ
海外渡航時の安全情報、たびレジの登録など
- ハラスメントに関する相談 [ハラスメント相談員名簿](#)
- 安全の手引き



HOME	研究科長から	概要	入試情報	国際交流	関連施設
------	--------	----	------	------	------

HOME > 理学部・理学研究科学生用掲示板

2020/4/15

- 数学科・数学専攻
- 物理学科・物理学専攻
- 化学科・化学専攻
- 生物学科・生物学専攻
- 惑星学科・惑星学専攻
- オープンキャンパス
- オープンラボ（入試説明会）
- サイエンスセミナー
- 模擬授業
- ハイスクールラボ at 神戸大
- 科学研究費補助金等
- 年次報告書・外部評価等
- ファクトブック
- 強み・特色
- 理学部ホームカミングデイ
- 理学部グローバルチャレンジプログラム

理学部・理学研究科学生用掲示板

- 共通
- 学部生用**
- 大学院博士課程前期課程生用
- 大学院博士課程後期課程生用
- 特別研究員(DC,PD)応募用

共通

**学部生の情報
確認せよ！**

◆ 令和2年度(2020年度)新入生の皆さんへ

- 【重要！】第1・2Qの履修登録期間について
- 学生向けポータルサイト「うりぼーポータル」
- 令和元年度 高度教養科目(学部2018年度生以降) [理学部開講科目](#) [理学以外開講科目](#)

◆ 各種届出・制度の案内・学生便覧

- [身上異動・住所変更届 \[PDF\]](#) (住所, 保護者等の連絡先の変更, 改姓などの場合に提出してください。)
- [休学・復学・退学等について](#)
- [証明書の発行について](#)
- [各種書類様式](#)
- [学生便覧\(2016年度入学者用\)](#)
- [学生便覧\(2017年度入学者用\)・訂正](#)
- [学生便覧\(2018年度入学者用\)・訂正](#)
- [学生便覧\(2019年度入学者用\)](#)
- [学生便覧\(2020年度入学者用\)](#)

◆ リンク

- [学生向けポータルサイト「うりぼーポータル」](#)
神戸大学の学生生活(授業・履修・奨学金・海外留学等)
- [在学生の方へ\(神戸大学のページ\)](#)
- [外務省・海外安全ページ](#)
海外渡航時の安全情報、たびレジの登録など
- [ハラスメントに関する相談](#) [ハラスメント相談員名簿](#)
- [安全の手引き](#)

通学証明書(通学定期券の購入に必要)

通学定期券は通学証明書を使い、購入することになります。生協でJRと市バスの定期券を申し込んだ学生は対象外です。

1. 《通学証明書交付願》と《通学定期券の購入方法(一年次初回)》を受け取る。
2. 《通学証明書発行台帳》に学番、氏名を記入する。(1枚につき1行)
3. 《通学定期券の購入方法(一年次初回)》を参考に所定の事項を記入し、教務学生係に提出する。

(注意) 2020年度は今のところ必要ありません。

通常のガイダンスでは、初めて大学に登校した日にこのスライドで説明をしますが、今回はしばらく通学できないので、通学できるようになった時点で必要になる情報です。

これで、化学科ガイダンスを終了します。

後日、通学が始まりましたら、改めて化学科のガイダンスを行います。

それまでに、遠隔授業が始まりますので、まずは履修する授業を考えて、教科書の注文、遠隔授業を受けるための準備、履修登録、の作業をして下さい。

化学科教員一同、皆さんに会える日を楽しみにしております。